

新規市指定・登録文化財候補（案）

1. 民権家 石坂 昌孝 関連

（1）石坂 昌孝屋敷跡

- 所在地 野津田町 町田ぼたん園内
- 概要 旧神奈川県自由民権運動を主導した石坂昌孝の屋敷跡。北村透谷と長女美那の出会いの地でもあり、「自由民権の碑 透谷美那子出会いの地」が建っている。1889（明治22）年昌孝が長男公歴より再相続、政治活動による借金、返済のため1904（明治37）年に屋敷は売却された。屋敷地は公歴名義だったが、相続者により市に寄贈された。



町田ぼたん園（写真右側が母屋跡地）



自由民権の碑

（2）石坂 昌孝の墓

- 所在地 野津田町 民権の森内
- 概要 石坂昌孝屋敷跡地（町田ぼたん園）の裏山に建つ。自由民権運動を主導した石坂昌孝の墓。長男公歴は渡米、長女美那・三女登志も嫁いでいるため、野津田の人びとによって墓守がなされてきた。現在も、野津田町内会で法要・清掃等を行っている。土地の名義は北村美那から変更されていない。

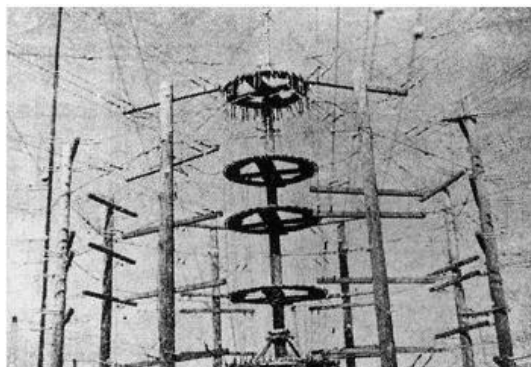
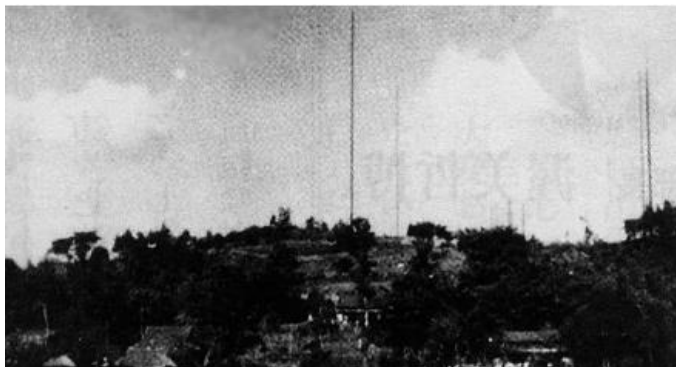
石坂昌孝の墓



2. 昭和・戦争遺跡 関連

(1) 多摩送信所跡

- 所在地 相原町 法政大学多摩キャンパス内
- 概要 アジア太平洋戦争末期の1944(昭和19)年、本土空襲の本格化に備えるため海外放送、電信通信・連絡手段の確保が求められ、1944～1945年に国際電気通信株式会社(現 KDDI)敷設を要請、木造無線塔6基が建設された。8月15日の終戦により海外放送は終了、1946年秋に多摩送信所は閉鎖された。この送信所よりポツダム宣言受託を発信したといわれている。



上左：遠景 上右：アンテナ
下：記念碑とアンテナ土台

(「法政大学 多摩キャンパス内史跡 日本のポツダム宣言受託を世界に発信した「多摩送信所」跡」法政ミュージアムホームページ「HOUSEI MUSEUM」vol. 22、2011より)

(2) お召しホームと行幸道路

- 所在地 原町田 市営原町田一丁目駐車場、JR 町田駅一境橋
- 概要 昭和天皇が陸軍士官学校へ向かうために利用した原町田駅のホームと下車してから相武台へ向かう道路。お召ホームは、1937(昭和12)年に建設された陸軍士官学校での卒業式に向かうため、皇族用ホームとして昭和18～19年に建設された(お召列車の原町田駅利用は8回だが、お召ホーム利用は1回のみ)が、遺構も含め現存していない。行幸道路については、町田駅より境橋まで当時植樹された欒並木が残存している。

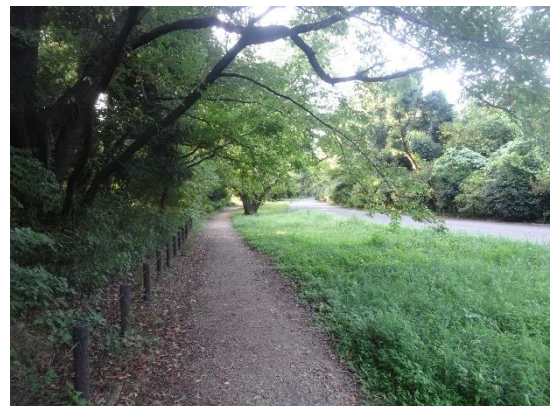


お召ホーム（左：取壊前・右：跡地現況）

行幸道路

（3）戦車道路

- 所在地 上小山田町・常盤町境界、小山ヶ丘・八王子市境界、小山ヶ丘
- 概要 相模陸軍造兵廠で生産された戦車の性能テストを実施するため、1943（昭和18）年に戦車道路が造られた。工事には朝鮮人が動員された。戦後は防衛庁管轄となるが、1970年頃から返還・払下運動がおこり、1975年市に管理委託され、尾根緑道として整備された（一部は都立小山内裏公園内）。



尾根緑道（上小山田町）

小山内裏公園内（小山ヶ丘）

（4）無装荷ケーブル

- 所在地 相原町
- 概要 日本と満州を結んだ電話通信用地下ケーブル。相原2921番地に1937（昭和12）年に着工、翌年開局した中継所があった。ケーブルの接続点をコンクリートで基礎状に固めていて、一定間隔で点々と残っており、標識も一部残っている。戦後は機構改正を経つつ日本電信電話公社（現NTT）所属の関東電気通信東京搬送通信部（現関東電友会東京搬送支部か）管理下に入った。

3. その他

(1) 香山園

- 所在地 能ヶ谷
- 概要 元神蔵宗家の屋敷で、1906（明治39）年建築の市内最大の古民家。上層農家と御殿を融合させた特異な外観・間取・意匠が特徴。雄大な池泉回遊式庭園が展開している。丘陵頂部に2基の円墳（市内唯一の古墳）、丘陵斜面に20基の横穴墓が確認されている。主屋と庭園は町田市が譲り受け、2025年に鶴川香山園として開園。

1794（寛政6）年6月1日の創設と伝わる神蔵灸治所は、明治以降隆盛となり毎月1日に行われ、北海道から九州までの人が訪れたとされる。神蔵宗家に伝わる古文書類はかなり限定され、伝わる由緒の十分な検証は困難である。



神蔵中風灸治所（「鶴川村誌」1958年より）



主屋・庭園（2011年撮影）



神蔵宗家看板
（小島資料館蔵）